

ナガレトビケラ科の仲間

Rhyacophilidae sp.

ナガレトビケラ科



ナガレトビケラ科の仲間（幼虫）

（撮影：宮下 カ）

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）
花

（外来種）
花

哺乳類

（水辺）
鳥類

（草原・樹林）
鳥類
ワシ・タカ

名前の由来

溪流など流れのある水路にいるトビケラのため。トビケラの由来は不明。漢字名：流飛螻

形態的特徴

幼虫の特徴：中・後胸は完全に膜質である。第9腹節（最も後の節）背面はキチン板がある。ナガレトビケラ科の幼虫は巣を作らず、蛹になるときマユを作る。

類似種と見分け方：ヒゲナガカワトビケラ。

ヒゲナガカワトビケラの第9腹節背面は完全に膜質である



ナガレトビケラ科の仲間の成虫

（撮影：宮下 カ）

生息環境・分布

清冽な河川の山地溪流から中流域の礫間等。

環境省・国交省水質調査：「きれいな水」の指標。

分布：国外分布は、不明。国内分布は、北海道～九州。

北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

捕食性。他の微小水棲動物を捕食する。

魚類などの餌となる。

繁殖生態・寿命

不明。



類似種、
ヒゲナガカワトビケラ

興味深い話

■他のトビケラ類と違って巣を作らない。蛹になる時には礫間にマユを作る。

■十勝地方のアイヌ語ではトビケラ類幼虫を「ウォルンカムイ」という。

配慮事項

汚濁に弱いため水質が重要となる。餌となる微少な水生動物の存在も欠かせない。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
卵期・幼虫期	■									■			
成虫期					■								

参考文献

「アングララーのための水生昆虫フィールドノート」宮下力 出版文化社 2000

「知里真志保著作集 別巻Ⅰ 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」知里真志保、平凡社 1976

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995